

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市防災会議
開 催 日 時	平成25年1月24日(木) 開会：10時00分・閉会：11時5分
開 催 場 所	市役所3階 305会議室
出席者(委員) 氏 名	工藤正司 山崎明弘 佐藤辰也 布施武雄 清水英孝 小倉敬翁 中島 守 大野康夫 岩根 忠 小河原勝美 小川栄一 河野恭男 高橋秀男 橋本好司 岡部紀之 中村 猛 杉山晴彦 山岸敏秀 伊藤基行 高内利政 渡辺佳裕 平賀唯司 稲森哲郎 森田 健 島崎孝一 桜沢勇二 荒井康一 坂本和雄 木村 誠 小島一男 相原香保留 井上文子
欠席者(委員) 氏 名	川島 治
事 務 局	小林市民生活部長 吉田課長 柿沼主幹 西村主査 大澤主事 福田主事
会 議 内 容	〔報告事項〕 報告第1号 行田市における災害対応について 報告第2号 行田市における災害対策について 〔議題事項〕 議題第1号 行田市地域防災計画の修正について 議題第2号 行田市防災会議規程の一部改正について 議題第3号 避難所の指定について 〔その他〕 今後の取組について
会 議 資 料	(資料名・概要等) ・行田市防災会議資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 1名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局 工藤会長 事務局 工藤会長 事務局	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長あいさつ）</p> <p>議題の進行につきましては、行田市防災会議規定第5条第2項の規定により、会長が議長を務める事となっている。</p> <p>3 議 事（議長：工藤会長）</p> <p>（1）報告事項</p> <p>報告第1号 行田市における災害対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の災害時の出動・待機状況について <p>別添資料1「平成24年度の災害時出動・待機状況」を基に大雨や地震などによる出動・待機体制の状況を報告した。</p> <p>報告第2号 行田市における災害対策について</p> <p>（ア）平成24年度行田市防災訓練の概要について</p> <p>別添資料2「平成24年度行田市防災訓練実施要綱」を基に事務局が説明した。</p> <p>本年度は、「自主防災組織」を訓練対象とし、5会場124団体692名の参加者により災害時の初動訓練を実施した。</p> <p>（イ）平成24年度行田市自主防災組織リーダー養成講習会の概要</p> <p>別添資料3「平成24年度行田市自主防災組織リーダー要請講習会実施要綱」を基に説明した。</p> <p>本年度新たに実施した事業で、自主防災組織のリーダーを対象に災害図上訓練（DIG）及び講演会を実施した。</p> <p>（ウ）防災行政無線音達・劣化度調査について</p> <p>来年度以降、防災行政無線のデジタル化更新工事を実施するため、全145局の屋外子局を対象に実施した。</p> <p>（エ）災害時における災害協定等の状況について</p> <p>別添資料4「災害時応援協定一覧表」を基に事務局より説明した。</p> <p>現在34の事業所と行田市内において災害が発生した際、食料や燃料などの供給を始め、応急復旧活動などについて協定を締結している。本年度については新たに3事業所と協定を締結した。</p> <p>また、姉妹都市など10公共機関と応援協定を締結しており本年度、新たに行田警察署と協定を締結した。</p> <p>（ウ）自主防災組織の設立状況について</p> <p>別添資料5「自主防災組織一覧表」を基に事務局より説明した。</p> <p>東日本大震災以降、地域の防災に関する意識が向上している</p>

<p>工藤会長</p>	<p>ことから、本年度新たに 14 団体 15 自治会が設立され 186 自治会のうち 98 団体 100 自治会となっている。 以上、報告第 1 号及び報告第 2 号についての説明である。 事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問は無い。) この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>(2) 議案事項 議題第 1 号 行田市地域防災計画の修正について 別添資料 6 「行田市地域防災計画の修正について」を基に事務局より以下の内容について説明する。</p> <p>1 修正の経緯 行田市地域防災計画については、国の防災基本計画及び埼玉県地域防災計画との整合を図りながら、社会情勢の変化、各種計画や法令等の改正を踏まえ修正を加えるとともに、東日本大震災での教訓から更なる防災体制及び防災対策の充実を図るため修正を行った。</p> <p>2 主な修正事項 (1) 東日本大震災を踏まえた事項 ・帰宅困難者に関する修正 ・備蓄物資に関する修正 ・放射能汚染対策に関する修正 ・避難所設置運営に関する修正 ・災害ボランティアに関する修正 ・市災害対策本部体制に関する修正 (2) 社会情勢の変化等を踏まえた修正 ・情報伝達手段の拡充に関する修正 ・自主防災組織に関する修正 ・災害時要援護者に関する修正 ・東海地震の警戒宣言に伴う対応措置計画の追加 (3) その他の事項 ・文言や名称等の軽微な修正</p> <p>3 これまでの経緯及び今後の予定</p>
<p>工藤会長 中島委員</p>	<p>事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 災害時要援護者の設置促進の中に、単身高齢者や高齢者のみの世帯に対し、安心安全情報キットの設置促進があったが、この安心安全情報キットは、平常時に必要情報を記載しペットボトル等に入れ情報提供するものか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおりである。災害時においても同様の情報が必要となる</p>

<p>工藤会長 事務局</p>	<p>ため普及を促進するものである。 (他の意見なし) 他に意見がなければ、ご了承いただきたい。 議題第2号 行田市防災会議規程の一部改正について 別添資料7「行田市防災会議規程の一部改正について」を基に事務局より説明する。 組織改変に伴い、職名及び会議の庶務を担当する部署名の変更するものである。</p>
<p>工藤会長 事務局</p>	<p>事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問は無い。) この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。 議案第3号 避難所の指定について 市内の公共施設53箇所を避難所に、20箇所を避難場所に指定している。平成24年5月において桜ヶ丘公民館が開館したため新たに指定するものである。</p>
<p>工藤会長 事務局</p>	<p>事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問は無い。) この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい。 (3) その他 ・今後の取組について (ア) 平成24年度の取組みについて ・行田市ジュニア防災会議について 別紙資料9「平成24年度行田市ジュニア防災会議実施要綱」を基に事務局より説明する。 中学生を対象に災害図上訓練(DIG)や市長を囲み防災について話し合う会議を2月2日に実施を予定している。 (イ) 平成25年度以降の取組みについて 事業については、本年度実施した防災訓練、自主防災組織リーダー養成講習会については、平成25年度以降も引続き実施する。 また、災害応援協定に係る応援要請伝達訓練についても来年度以降実施する。 設備面については、防災行政無線更新工事を平成25年度から平成27年度にかけてデジタル化を含めた更新工事の実施、防災用備蓄倉庫及び資機材の整備を平成26年から平成27年度にかけて整備。デジタル携帯無線機やDVDなどの啓発教材を平成25年度に整備。毎年行っている備蓄食糧については、アレルギー対応の食料などを勘案しながら整備する</p>

<p>工藤会長</p>	<p>予定である。 以上、今後の取組についての説明である。 事務局の説明に対し意見や質問があればお願いしたい。 (委員からの意見や質問は無い。) この案件について特に意見がなければ、ご了承いただきたい 以上で本日予定していた議事については、皆様方のご協力により無事に審議を終了することができました。</p>
<p>井上委員</p>	<p>せっかくの機会なので、行田市の防災対策について、ご意見等ございましたらお伺いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回初めて男女共同参画推進審議会から委員として参加した。行田市における諮問機関の委員構成の女性比率が18.6%となっている。行田市男女共同参画推進計画(第3次)の重要施策として諮問機関の女性比率30%を目標としているため、本会議においても女性比率を30%になるよう希望したい。</p>
<p>相原委員</p>	<p>今後、各委員の選出機関に呼びかけ対応していきたい。 女性の視点からの防災対策は非常に重要なものであり、今後様々な意見を取り入れていきたいので協力願いたい。</p>
<p>工藤会長 事務局</p>	<p>防災において一番大事な事は、人間関係であり、近年では近所付き合いができず関係が悪化していることが多い。昔ながらの向こう三軒両隣のような人間関係の構築が非常に重要である。 (他の質問なし) 以上で行田市防災会議を終了する。</p>
<p>4 閉会</p>	